

# マテリアリティへの取り組み

## E 1 環境ビジネスの取り組み

### サステナブルファイナンスに係る長期目標を設定

環境課題・社会課題解決に向けて、2021年度～2030年度の10年間のサステナブルファイナンスにおける累計実行額目標を設定しています。

目標 2021年度～2030年度  
**1.5兆円**  
(うち環境分野 5,000億円)

実績 2021年度～2022年度  
**2,717億円**  
(うち環境分野 1,093億円)

詳細は P34

### ごうぎんエナジー(株)による再生可能エネルギー発電事業への参入

地域の脱炭素を牽引する地域に根差した事業を展開し、再生可能エネルギー供給量増加と地産地消を推進することで、地域脱炭素・カーボンニュートラルの早期実現と再生可能エネルギー利用拡大による地元企業の競争力強化など、地域とお取引先の成長戦略につなげていきます。

詳細は P29

### J-クレジット活用支援

山陰発のJ-クレジットを活用した官民連携によるカーボン・オフセットの取り組みでお取引先の環境経営の実践と企業価値向上を支援しています。

詳細は P35

## E 2 気候変動への対応

### TCFD提言に沿った情報開示

#### ◎シナリオ分析の実施・開示

当行では気候変動が将来にわたって当行のポートフォリオに与える影響を把握するために、2022年度より物理的リスクと移行リスクのそれぞれについてシナリオ分析を実施しています。

詳細は P23

#### ◎投融資先の温室効果ガス排出量の計測・開示

当行は2022年に、金融機関の投融資先の温室効果ガス排出量を計測する手法を開発している国際イニシアチブPCAFに加盟しました。今年度初めて、PCAFの定める基準に基づき事業性融資および上場株式・社債について、温室効果ガス排出量(Financed Emissions)を試算しました。

詳細は P27

#### ◎炭素関連資産(貸出金残高)の状況の開示

炭素関連資産を以下の4つのセクター別に定義し、当行貸出金残高に占める4セクターの貸出金割合を算出しました。

#### 炭素関連セクター

エネルギー	運輸	素材・建築物	農業・食糧・林業製品
-------	----	--------	------------

詳細は P24

## マテリアリティへの取り組み

### E 3 環境負荷の低減

#### カーボンニュートラルの実現に向けた中長期目標を設定

気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定では世界共通の長期目標として2℃目標等に合意しています。この実現に向けて、世界各国が取り組みを進めており、日本でも2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを宣言しました。

カーボンニュートラルの実現に向けて、山陰合同銀行グループ全社がさらに意欲的に取り組む方針を定め、中長期目標を設定しています。

##### ◎目標

2030年度	温室効果ガス排出量 (Scope1,2) のネットゼロ
2050年度	サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量 (Scope1,2,3) のネットゼロ

詳細は **P28**

#### 環境に配慮した店舗づくり

従来より一部の店舗において太陽光発電設備を導入し、店舗で使用する電力の一部を賅っています。2022年度は、新築移転した2店舗を脱炭素に対応したZEB店舗・ZEB Ready店舗としました。その他店舗、建物においても順次照明のLED化、空調設備の更新を進め、事業活動における環境負荷低減に努めています。

詳細は **P30**

#### 購買活動に関する方針の策定

山陰合同銀行グループは購買活動において環境や社会に配慮した責任ある行動に努めることを表明し、物品やサービスの供給元(以下サプライヤー)と協働し持続的な成長を目指します。さらに地域の主要なサプライヤーに対して当行グループの購買活動に関する考え方を説明し、理解と協力をお願いしています。

今後は、サプライヤーに対して取り組み状況についてのアンケートを行い、サプライチェーン全体での取り組みを深めてまいります。

詳細は **P31**

### S 4 地域の事業の存続・成長

#### リレーションシップバンキング活動を通じた地域の徹底支援

後継者不足、人手不足、企業数の減少などのさまざまな地域課題に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大、脱炭素社会への移行、デジタル化、働き方の多様化など事業環境が変化しており、これまで以上に地域・お客様が抱える課題・ニーズは多様化しています。当行の知見やノウハウを発揮し、コンサルティングを展開することで、課題解決に貢献します。

詳細は **P37**

### S 5 安心安全な社会の形成

#### デジタル活用による利便性向上

「非対面チャネルの拡充」「店頭でのお申込受付のタブレット化」「キャッシュレス決済の促進」など、お客様の多様化・高度化するニーズにお応えし、お客様の利便性とサービスの向上を図っています。

詳細は **P45**

#### 野村證券(株)との連携でお客様の資産形成をサポート

2020年10月に、当行、ごうぎん証券(株)、野村證券(株)のビジネスラインを一つに統合し、山陰合同銀行の広範なネットワークに、野村證券(株)の専門的なノウハウと豊富な情報をプラスし、人生100年時代を見据えたお客様の資産形成をサポートいたします。

詳細は **P47**

## マテリアリティへの取り組み

### S 6 地域社会への貢献

#### 幅広いユニークな社会貢献活動の展開

社会・教育・文化等への社会貢献活動においても、「地域・お客様のお役に立つ」という考えのもと、地域社会に対する責任を果たすよう努め、ユニークな活動を長年にわたり展開しています。

##### ◎代表的な活動

森林保全活動

詳細は P32

ごうぎんチャレンジド

詳細は P71

尚風館

詳細は P51

ごうぎん一粒の麦の会

ごうぎん文化振興財団

「小さな親切」運動

詳細は P52

#### 金融経済教育

コンサルティングプラザの専門人材が講師となり、学校やお取引先に向けて金融経済教育の機会を提供しています。

詳細は P53

#### スポーツ振興

ごうぎん女子バドミントン部の活動や、地元プロスポーツチームの応援を通して地域活性化を図っています。

詳細は P54

### S 7 地域・お客様のSDGs/ESG後押し

#### 地域へのSDGs普及啓発

地域のリーディングカンパニーとして当行自身がSDGsに取り組むことに加え、SDGsの理念を地域社会やお客様に広げる活動や、地域やお取引先のSDGsの取り組みを後押しする活動を行っています。

詳細は P57

#### お取引先の脱炭素社会への移行、SDGsの取り組み支援

脱炭素社会への移行によるお取引先の事業への影響についてともに考え、今後の事業展開に有効なご提案やコンサルティングを行っています。また、SDGsについて考える機会や情報の提供、SDGsの事業内容への落とし込み方や経営への活かし方などビジネスを通じたSDGsへの取り組み支援、SDGs貢献に通じる金融商品や課題解決策のご提案など、事業機会の創出や付加価値向上につながるご提案を行っています。

##### ◎提供している主なサービス・商品

ごうぎんSDGs経営応援サービス

CO<sub>2</sub>排出量の把握・見える化

詳細は P56

ごうぎんSDGs私募債

詳細は P53

## マテリアリティへの取り組み

### S 8 ダイバーシティ推進

#### 多様な人材の活躍をサポート

当行では、人的資本を最重要資本の一つと捉え、人材への投資を通じて育成の強化、働きやすい環境の整備に努めています。地域やお客様の課題を解決できる高い専門性を有するプロフェッショナル人材に自律的に成長する組織を目指し、多様な個人が最大限能力を発揮できるウェルビーイングな職場環境の実現に向け取り組んでいます。

#### ワーク・ライフ・バランスの充実

柔軟な働き方を実現し、従業員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを充実させることで、働きやすさの向上を目指します。

##### ◎直近の主な取り組み

人事制度、キャリア開発体系の改定

人材育成方針、社内環境整備方針の策定

エンゲージメントサーベイの実施

女性活躍推進チームの立ち上げ

詳細は P58

### G 9 グループガバナンス強化

#### コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方

当行は、経営理念に掲げる「地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク」を実現するとともに、金融環境の変化に適切に対応し、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を図るために、コーポレートガバナンスの強化とその充実に取り組めます。

詳細は P75

### G 10 リスク管理の強化

#### リスク管理に関する基本的な考え方

当行では、リスク管理を経営の安定性・健全性を維持するための最重要課題として位置付け、取締役会を頂点とするリスク管理態勢を構築しています。具体的には、管理すべきリスクの種類を、信用リスク、市場リスク、流動性リスク、オペレーショナル・リスクに分類し、各管理主管部所を定めています。

詳細は P80

#### コンプライアンスに関する基本的な考え方

当行では、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置付け、行内のコンプライアンス風土の醸成に向けた態勢強化に積極的に取り組んでいます。

コンプライアンス委員会では、コンプライアンスの状況やコンプライアンス・リスク管理体制の整備・運用について定期的に検討し、施策の立案、問題点の改善を行い、検討事項を定期的に取締役会に付議・報告しています。

詳細は P82

# マテリアリティへの取り組みと目指す姿

	マテリアリティ	具体的取組内容	これまでの取り組み	目指す姿／取組目標
環境	1 環境ビジネスの取り組み	環境関連ファイナンス・投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナブルファイナンス実行額(累計)2,717億円(うち環境分野1,093億円)(2021年度から2022年度までの累計)</li> <li>● ごうぎんエナジー(株)を設立し、再生可能エネルギー発電事業に参入</li> <li>● J-クレジットの販売支援実績(累計)299件/9,560t-CO<sub>2</sub>(2011年度の開始から2022年度までの累計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2030年度までのサステナブルファイナンス目標累計実行額1.5兆円(うち環境分野5,000億円)</li> <li>● 自治体やお取引先と連携した地域での再生可能エネルギー電力の供給</li> </ul>
	2 気候変動への対応	TCFD提言に沿った情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TCFD提言に基づくシナリオ分析の開示</li> <li>● 金融機関向け炭素会計パートナーシップ(PCAF)に加盟</li> <li>● 気候変動イニシアチブ(JCI)への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動リスクの分析対象の拡大および影響額算出方法の高度化</li> <li>● 投融資先の温室効果ガス排出量の計測・開示</li> </ul>
	3 環境負荷の低減	温室効果ガス排出削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 温室効果ガス削減率(連結)2022年度38.8%(2013年度比)</li> <li>● 経団連生物多様性宣言イニシアチブに加盟</li> <li>● 本店ビルと鳥取営業本部ビルに再生可能エネルギー由来の電力導入</li> <li>● ZEB店舗・ZEB Ready店舗の新築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カーボンニュートラルの達成 2030年度 Scope1,2をネットゼロ 2050年度 Scope1,2,3をネットゼロ</li> <li>● 温室効果ガス排出量目標 2023年度 50%削減(2013年度比)</li> <li>● 新築店舗のZEB(Net Zero Energy Building)</li> <li>● 設備更新による省エネ化および再生可能エネルギーの利用拡大</li> </ul>
社会	4 地域の事業の持続・成長	リレーションシップバンキング活動を通じた地域の徹底支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソリューションメニューの拡充、高度化 ● 伴走型コンサルティングの実践</li> <li>● 法人営業体制の強化</li> <li>● (株)ごうぎんキャリアデザイン業務開始により人材紹介業務を拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソリューションメニューの拡充</li> <li>● 全行員がお客様の課題を深掘りし、成長戦略を伴走支援する「全員コンサル」体制の構築</li> </ul>
	5 安心安全な社会の形成	安定した金融インフラの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野村證券(株)との連携で資産形成をサポート</li> <li>● 非対面チャネルの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野村證券(株)との連携で高度なコンサルティングを提供</li> <li>● 非対面取引の充実によるお客様の利便性の向上</li> <li>● キャッシュレス取引の浸透による地域活性化</li> </ul>
	6 地域社会への貢献	幅広い社会貢献活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2006年から継続している森林保全活動</li> <li>● 将来の地域を担う人材を育成する私塾「尚風館」の運営</li> <li>● 金融経済教育の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林保全活動の継続</li> <li>● 尚風館の継続運営</li> </ul>
	7 地域・お客様のSDGs/ESG後押し	新サービスの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごうぎんSDGs経営応援サービスを通じたサポートやソリューションの提案</li> <li>● お取引先の温室効果ガス排出量削減への取組支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごうぎんSDGs経営応援サービスの提供を通じた意識醸成や取組支援</li> <li>● お取引先の温室効果ガス排出量削減に向けた支援体制の拡充</li> </ul>
	8 ダイバーシティ推進	多様な人材の活躍をサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人事制度、キャリア開発体系の改定 ● 人材育成方針、社内環境整備方針の策定</li> <li>● エンゲージメントサーベイの実施 ● 人的資本経営コンソーシアムへの参画</li> <li>● 女性活躍推進チームの立ち上げ</li> <li>● 女性管理職比率(連結)課長相当職以上20.7%、係長相当職以上26.5%(2023年3月末)</li> <li>● 女性のエンパワメント原則(WEPs)への署名</li> <li>● 障がい者の自立支援(ごうぎんチャレンジド)</li> <li>● 障がい者雇用率(連結)2.7%(2023年3月末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロフェッショナル人材の育成</li> <li>● 自律的なキャリア形成を促進するためのサポート拡充</li> <li>● 女性管理職比率 2023年度末 目標 25%以上</li> </ul>
ガバナンス	9 グループガバナンス強化	グループ連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性取締役3名(25.0%)(2023年6月)</li> <li>● 独立社外取締役6名(50.0%)(2023年6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取締役会における多様性の継続的な確保</li> </ul>
	10 リスク管理の強化	各種リスク管理態勢の高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合的リスク管理態勢の高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営の安全性・健全性の維持</li> </ul>